

NEWS LETTER

医療法人横浜柏堤会 奥沢病院
平成27年6月号 Vol.215



病院理念：
私たちは、患者様の意思とプライバシーを
尊重し、心のこもった質の高い医療サービス
を提供します。



医師のコラム 内科 菅田 彰
喘息とCOPDのオーバーラップ症候群

各部署のコラム
アレルギー
臨床検査科 和智 瑛

お知らせ
地域公開講座
臨床検査科 岡田 淳

奥沢病院の職員一同は患者さま（クライアント）のご意思とプライバシーを尊重します。

- 患者様の意思とプライバシーを尊重した医療
- 苦痛・恐れ・不安の解消に最大限の努力をする事
- 24時間365日の二次救急医療体制
- 周辺の医療機関との密接な医療連携
- 総合診療と特色のある専門外来

医師のコラム



喘息とCOPDのオーバーラップ症候群

内科 菅田 彰

暑くなってきましたが、皆様の体調は如何でしょうか。
これまでのコラムの中で、喘息とCOPD（慢性閉塞性肺疾患）について書かせて頂きました。

それぞれの特徴を簡単にまとめてみますと、喘息はアレルギーによる慢性的な気道の炎症が原因で発症し、症状には日内変動があり、治療の中心は吸入ステロイド薬で、一方COPDは喫煙により肺の構造が壊れて発症し、症状の日内変動は少なく、治療は抗コリン剤という気管支拡張薬の吸入が中心となります。

私が医者になった頃には、この2つの病気は良性の慢性呼吸器疾患の代表ではあるものの、上記のように原因も病態も異なり、同じ患者さんで合併することはほとんどないと考えられていました。

しかし近年、この2つの病気の特徴を併せ持つ患者さんがかなりの割合でいることが指摘され、オーバーラップ症候群という新しい疾患概念で呼ばれるようになりました。最近の呼吸器学会やアレルギー学会でもトピックスとしてとりあげられています。この患者さんたちは、高齢者中心で、喘息やCOPD単独の病気の患者さんよりも重症であることが多く、一方の治療だけでは十分な症状の改善が認められなくても、もう一方の治療を併用することで、更なる治療効果の期待できる場合があります。

私の外来にも以前から喘息の診断で治療を受けているものの、十分な症状の改善がみられず、COPDの治療薬を追加することで効果のあった患者さんや、逆に喫煙歴があり、長い間COPDの診断で治療されていても、喘息の治療を追加することでさらに症状の改善がみられた患者さんがおられます。喘息もCOPDも吸入薬が治療の中心ですが、最近は2種類以上の薬が1つの吸入器で使用できる合剤の開発が盛んに行われており、簡便に、かつ効果的に治療ができるよう工夫されています。

喘息で治療しているのに症状が続いている、またはCOPDで治療をうけているのになかなか良くならないといわれている方は、もしかするとこのオーバーラップ症候群かもしれません。主治医の先生に相談してみると良いと思います。もちろん当院でも相談して頂ければと思います。





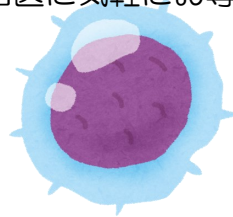
各部署のコラム

アレルギー

臨床検査科 和智 瑛

花粉症は春や秋のものと思われがちですが、一年中花粉が飛んでいるのを皆さんはご存知でしょうか？実は、種類が異なる花粉が年間を通して飛んでいるため、花粉症の症状が長く続き、辛い思いをされている方もいらっしゃいます。今回は花粉症などを含めた、アレルギーについてお話させていただきます。

アレルギーとは、体の外から侵入した細菌やウイルスを排除しようとする働きの免疫反応が花粉やダニ、埃や食べ物などに対して過剰に起こることをいいます。本来は、異物を排除するという生体にとって不可欠な働きを持っている免疫反応も過剰に反応することで、蕁麻疹や痒み、くしゃみや咳などひどい場合には呼吸困難になってしまうなどのアレルギー症状を引き起こす場合があります。過剰な免疫反応を起こさせる原因物質をアレルゲンといいます。人によってアレルギーの原因となるものは異なります。最初に触れました様に、種類の違う花粉それぞれに反応してしまう方もいれば、ダニや埃などに過剰に反応してしまう方もいらっしゃいます。また、特定の食べ物に反応してしまうこともあるため注意が必要になります。アレルギーの有無を血液検査で推測することができます。費用は自費で18,000円で受けられます。また、どんな物質に対して過剰に反応してしまうのかも調べることができますので、症状のある方は医師に相談をし、一度調べてみてはいかがでしょうか？検査等でご質問がある方は、担当医に気軽にお尋ねください。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハンノキ科												
スギ												
ヒノキ科												
イネ科												
シラカンバ												
ブタクサ												
ヨモギ												
カナムグラ												



お知らせ

第五回 地域公開講座を開催しました

臨床検査科 岡田 淳

H27年4月18日（土）、当院内科医・橋本善弘と臨床検査技師・渡辺政輝による地域公開講座『健康診断で何がわかる？ ～検査値の見方と血液の働き～』が奥沢区民センターで開催されました。内容として、健康診断を定期的を受診することで生活習慣病の予防や早期発見をすることの重要性をはじめ、臓器の状態によってどのように検査結果が推移していくのかを中心にお話させていただきました。また血液の働きについて、検査の重要性や検査値の見方について皆さんに地域公開講座を通して伝えることができたのではないかと思います。講座を聞きに来て下さった方の中には、ご自身の検診結果と見比べながら熱心に話を聞いている方もみうけられ、地域の方々の健康に対する関心の高さを感じるものでありました。

また、ご自身の検査結果について先生に相談される方もみられ、皆さんにとって、有意義な時間であったのではないかと考えております。これからも多くの方の参加をお待ちしています。



『6月』 外来担当医表

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科	菅田 彰	石井 翔 (膠原病)	伊平 慶三	井出 宏嗣 (膠原病)	菅田 彰	大西 司 (呼吸器内科)	菅田 彰	橋本 善弘	橋本 善弘	中村 友哉 (循環器内科)	菅田 彰
	伊平 慶三	辻田 裕昭 (循環器内科)	市川 博雄 (神経内科)	橋本 善弘	小鮎 美香 (膠原病)	吉本 彩子 (糖尿病)	二村 明德 (神経内科)		伊平 慶三	新村 京子 (糖尿病)	伊平(9:00~10:30) 橋本(10:30~12:30)
外科	鈴木 恵史	伊達 淳	小山 広人 (肝・胆・膵)	外科常勤医	梅田 耕明	-	加藤 貴史	尾本 正 (心臓血管外科)	鈴木 恵史	飯島 忠 (1,15,29日) 神山 剛一 (8,22日)	鈴木 恵史 (2,16,30日) 伊達 淳 (9,23日)
整形外科	菊地 健	-	神 興市 (背椎)	菊地 健	柳澤 和裕	伊藤 博	菊地 健	第1週のみ 稲垣 克記 15:00~ (予約制)	定方 博史 受付 初診 12:15まで 再診 12:30まで	柳澤 和裕	柳澤 和裕
小児科	常見 享久	常見 享久	常見 享久	永原 敬子	常見 享久	常見 享久	-	常見 享久	常見 享久	常見 享久	常見 享久
皮膚科	-	-	-	-	-	-	-	北島 真理子	-	-	-

お知らせ

- ※ 毎週火曜日小児科の午前の診療受付時間は
12:00までとなります。
- ※ 小児科の月曜日～金曜日の午後は予防接種と乳幼児
検診の予約があります。一般診察は予約の方が
終了次第(15:00頃)開始となります。受付は
13:30から行っております。
- ※ 当院は**24時間救急体制で診療を行っております。**
曜日により診療科目が異なります。

小児科の夜間診療も行っております

月曜日と金曜日は18:30までの
受付となります。



医療法人横浜柏堤会 奥沢病院

奥沢病院は戸田中央医科グループのグループ病院です。



〒158-0083 東京都世田谷区奥沢2-11-11
TEL:03-5701-7788 FAX:03-5701-2922
ホームページ<http://www.okusawahp.jp/>

診療科目

内科・外科・小児科・整形外科・放射線科・麻酔科

診療時間

平日 9:00~13:00(受付8:30~12:30まで)
14:00~17:00(受付13:30~16:30まで)
土曜 9:00~13:00(受付8:30~12:30まで)
休診 土曜午後・日祭日



周囲の医療機関との密接な医療連携

奥沢病院アテンディング・ドクター
昭和大学病院・都立荏原病院・都立広尾病院・日赤医療
センター・東京高輪病院・国立東京医療センター・他

戸田中央医科グループ近隣施設

田園調布中央病院・松井病院・世田谷神経内科病院